

【各国議会】 日本関係情報

【アメリカ】 チェンバースバーグ市と御殿場市の姉妹都市関係に関する所見

2016年7月14日、ビル・シュスター（Bill Shuster）下院議員（共和党、ペンシルベニア第9選挙区）は、ペンシルベニア州のチェンバースバーグ市（Chambersburg）と静岡県御殿場市の姉妹都市関係に寄与した資産家であるチャールズ・シュリックター（Charles Schlichter）氏を顕彰する所見（Extensions of Remarks）を連邦議会議事録に掲載した。この所見でシュスター議員は、姉妹都市関係の樹立に携わった人物と同様、関係の維持に貢献した人物も称讃の対象となるべきであるという点を強調した上で、両都市の関係維持に関するシュリックター氏の「30年にわたるコミットメント」を称揚している。具体的には、チェンバースバーグ市議会により設立されたチェンバースバーグ姉妹都市委員会が地元の団体や財界からの寄付を維持費に充てていることに触れた上で、地元の財界に属するシュリックター氏からの後援が姉妹都市関係を継続・発展させるために重要であったことを指摘している。

・ <https://www.congress.gov/crec/2016/07/14/CREC-2016-07-14-pt1-PgE1134-2.pdf>

【韓国】 平成28年版防衛白書における竹島関連記述に対する反応

中谷元防衛相（当時）が2016年8月2日の閣議で平成28年版防衛白書を報告し、了承された。この平成28年版の記述のうち、平成17年版以降踏襲されている「わが国固有の領土である北方領土や竹島の領土問題が依然として未解決のまま存在している」という記述について、韓国政府は同日、外交部報道官論評（昨年度までの声明から1段階格下げ）を出して強く抗議し、防衛白書の撤回を求めるとともに、「歴史の真実を正しく直視し、韓日関係が信頼に基づいた新たな未来に向けて進むことが出来るよう積極的に努力しなければならない」と述べた。

与党セヌリ党も同日の論評で防衛白書の竹島記述を強く糾弾し、直ちに是正するよう求めるとともに、次のような立場を表明した。「日本は国際社会の責任ある一員として、大韓民国と緊密な協調を通じ、北朝鮮核問題及び北東アジアの平和に取り組み、人類の普遍的価値を守っていく義務がある。そうした状況において、日本が大韓民国の領土を自国の領土だと主張することは共倒れを自ら招く行為である。」

同日、最大野党である共に民主党はグリーンフングにおいて次のような立場を表明した。「日本政府は精神的な侵略行為にほかならない独島（竹島の韓国名）に対する領有権主張を撤回しなければならない。日本政府がいくら独島に対する領有権の主張を繰り返しても、独島が大韓民国の領土であるという事実は微塵も揺るがないということを肝に銘じなければならない。」

・ <http://www.mofa.go.kr/news/pressinformation/index.jsp>

【韓国】 与野党議員団による竹島上陸

2016年8月15日、与党セヌリ党の羅卿瑗（ナ・ギョンウオン）議員を団長とする与野党の国会議員10名が竹島に上陸した。現職議員による竹島上陸は2013年8月以来3年ぶりであり、議員団は独島警備隊隊員に慰問品を渡すとともに、老朽化した施設等の改善を国会が積極的に支援すると表明した。また、日本政府が竹島上陸に遺憾の意を表明したこ

とについて、議員らは「独島訪問は通常の議員活動の一環であり、日本政府がこれを問題視するのは理解できない」と批判した。

・ http://www.natv.go.kr/renew09/brd/news/news_vw.jsp?newsId=33080

【韓国】第71周年光復節記念式典における朴槿恵大統領の祝辞（日本関連部分）

2016年8月15日、第71周年光復節記念式典の祝辞において朴槿恵（パク・クネ）大統領は、日本に関連して次のように発言した。「我々が朝鮮半島と北東アジアの平和と繁栄の主演であるという責任感を持ち、周辺諸国との関係を能動的かつ互恵的に導いていかなければならない。韓日関係においても、歴史を直視する中で未来志向的な関係を新たに築いていかなければならない。」

この祝辞について、同日、与党セヌリ党はブリーフィングで次のような立場を表明した。「一寸先をも予測しがたい国際情勢を考えると、未来志向的な韓日関係こそが北東アジアの平和と繁栄を保障する道である。セヌリ党は本日の大統領の祝辞に大いに共感する。」

一方、最大野党である共に民主党は同日のブリーフィングにおいて、次のような立場を表明した。「韓日関係について、歴史を直視する中で未来志向的な関係を新たに築いていかなければならないと述べたが、慰安婦合意が本当にそうした趣旨に沿ったものなのか尋ねたい。拙速な慰安婦合意は、歴史を直視するのではなく、歴史を消し去って妥協しようとするものであるという点を明確に指摘しておく。」

・ <http://www1.president.go.kr/news/newsList.php>

【韓国】終戦記念日における日本の政治家の靖国神社参拝に対する反応

2016年8月15日、終戦記念日に際して安倍晋三首相が玉串料を靖国神社に奉納し、閣僚の高市早苗総務相と丸川珠代五輪担当相が参拝し、67名の国会議員が「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」の集団参拝に参加した。これに対し、韓国政府は「日本の政治指導者による靖国神社供物料奉納及び神社参拝に対する外交部報道官論評」を発表し、次のように述べた。「日本政府及び議会の責任ある政治指導者達が、日本の侵略戦争の歴史を美化する靖国神社に再び供物料を奉納し、参拝を強行したことに対し、深い憂慮と遺憾を表明する。日本の政治家達が歴史について勇気を持って直視し、過去の歴史に対する謙虚な省察と心からの反省を行動で示すことにより、周辺諸国の信頼を得ることに積極的に取り組むよう求める。」

・ <http://www.mofa.go.kr/news/pressinformation/index.jsp>

【中国】安倍首相と習近平主席の会談

2016年9月7日の定例記者会見において、中国外務省の華春瑩報道官は、G20首脳会議出席のため中国・杭州を訪れた安倍晋三首相と中国の習近平主席が同月5日に会談を行ったことについて、次のようにコメントした。

「中日両国は互いに重要な隣国であり、両国関係の長期にわたる健全で安定した発展は、両国人民の利益に合致し、地域の平和と安定にも有益なものである。現在、中日関係は依然としてたびたび各種の複雑な要素に妨害されており、双方は、妨害を排除し中日関係を早期に正常な発展の道に戻るよう仕向けていかなければならない。正に習主席が強調したように、中日関係は現在、障害を乗り越えて進まなければ後退してしまう重要な段階にある。双方は、中日間の4つの政治文書と4つの原則的な共通認識を厳守し、対話と協議を

日本関係情報

通じて意思疎通を強化し、関係する問題を適切に処理しなければならない。日本側は、南シナ海問題において言動を慎み、中日関係の改善を阻害しないようにしなければならない。」

・ http://www.mfa.gov.cn/web/fyrbt_673021/t1395500.shtml